

## 子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ 趣意書

子どもたちは社会の宝であり、無限の可能性を秘めた存在です。

子どもを安心して産み育てることができ、子どもたちが自分らしく希望を持って暮らせるまちづくりをすすめることは、私たち大人の責務です。

国によると、現在七人に一人の割合で、子どもたちが貧困状態にあり、週に一人の割合で虐待や虐待が疑われる理由で命を落としているとの報告がされています。そこで、国では、平成二十七年四月に子供の未来応援国民運動を立ち上げました。

富士見市では、平成二十九年三月に埼玉県下で初の子どもの貧困対策整備計画として「夢つなぐ富士見プロジェクト+（プラス）」を策定し、これに基づき、本年六月に、民間団体、地域団体と行政で構成する「富士見市子ども未来応援ネットワーク会議」を開催するとともに、市民運動を広げていくための「子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ」発起人会が発足しました。

私たちは、富士見市に住むすべての子どもたちが夢に向かってチャレンジできるよう支援を行い、貧困の連鎖を断ち切るため、本日ここに「子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ」の始動フォーラムを開催し、本格的に市民運動を展開してまいります。

富士見市の企業や事業所、地域団体をはじめとして、市と市民の総力をあげて子どもたちの未来を応援する活動を始めましょう。

そして、社会の宝である子どもたちの輝く未来のために、この運動の輪を広げていきましょう。

その実現に向け、私たちは次の事業に取り組めます。

- 一 市民への広報、啓発活動、交流・連携事業の展開
- 二 支援活動と支援ニーズのマッチング事業
- 三 民間資金を核とする基金の創設・運用

市民の皆様には、この運動の趣旨等にご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成三十年十月六日

子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ 発起人一同